

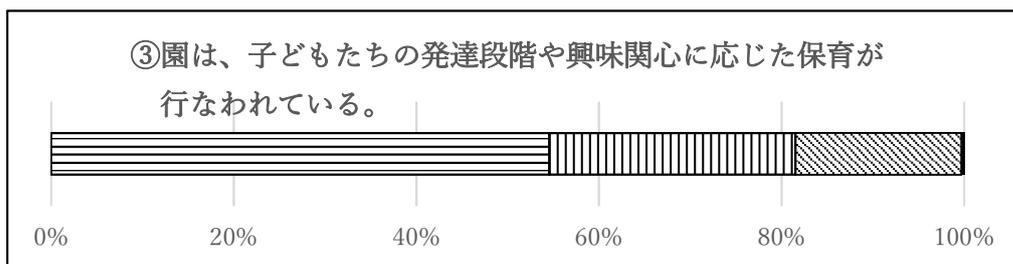
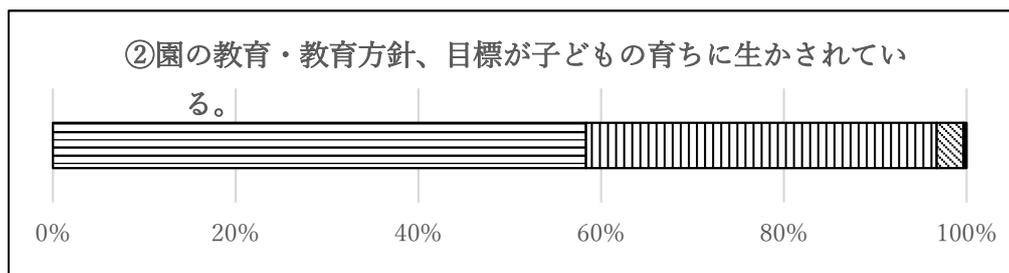
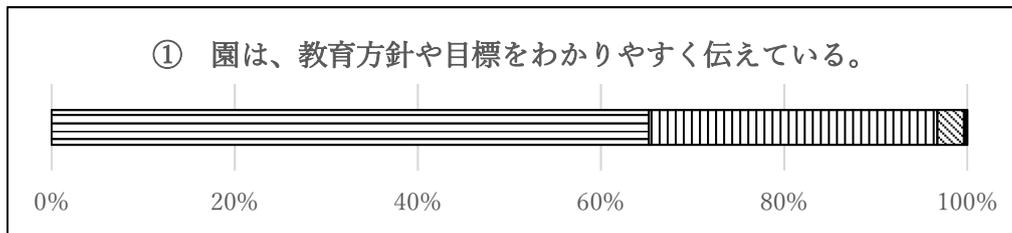
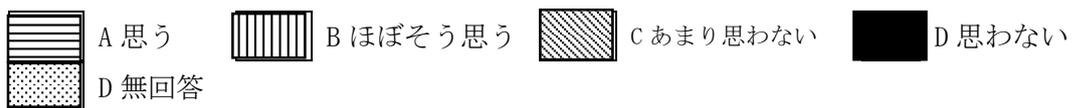
教育・保育活動に関するアンケート集計結果について

園児保護者に対して実施した「教育・保育活動に関するアンケート」の集計結果は以下の通りです。

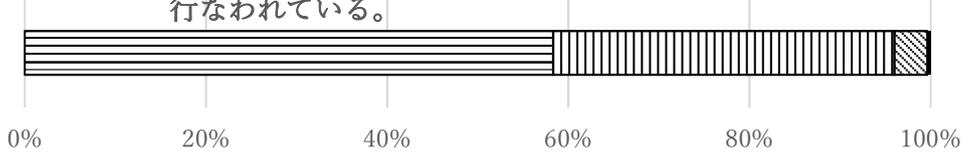
寄せられた貴重なご意見をもとに、教育内容や行事等が更に充実したものになるよう努めて参ります。

—集計結果—

提出人数 276 人 （回収率 91%）



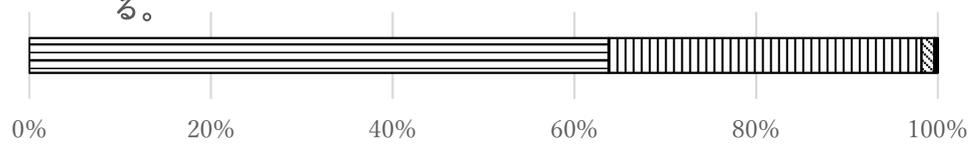
④園は、全体の中でも一人一人を大切に受け止めた保育が行なわれている。



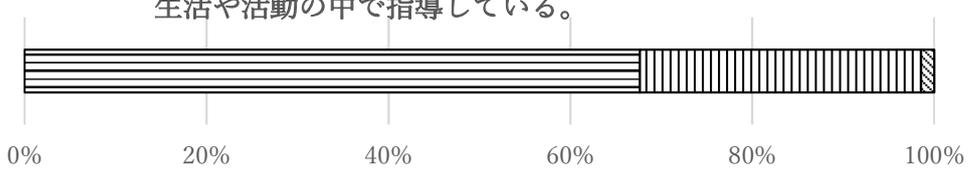
⑤園は、基本的な生活習慣が身につくように、年齢や発達段階に応じた指導が行われている。



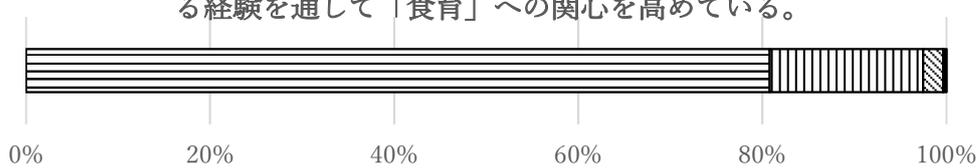
⑥園は、話したり聞いたりする意欲や態度を大切にしている。



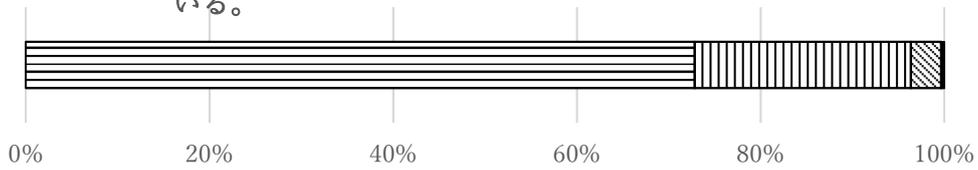
⑦園は、集団生活に必要なきまりや、約束の大切さを日々の生活や活動の中で指導している。



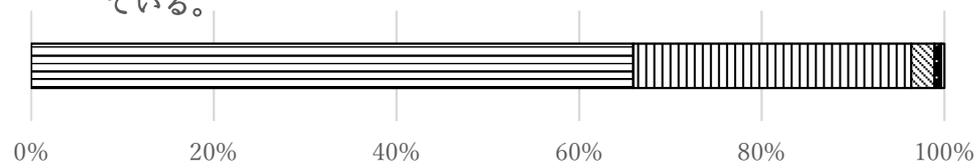
⑧園は、給食の食材について知らせたり、野菜を育てたりする経験を通して「食育」への関心を高めている。



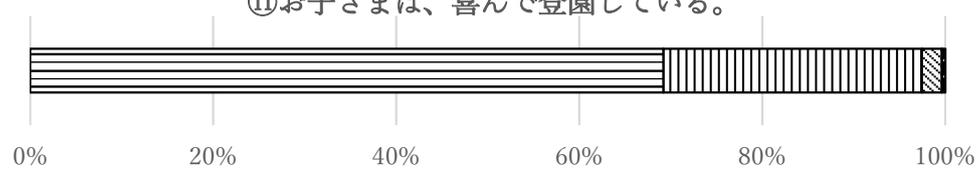
⑨園は、外部侵入者対策など、子どもたちの安全に配慮している。



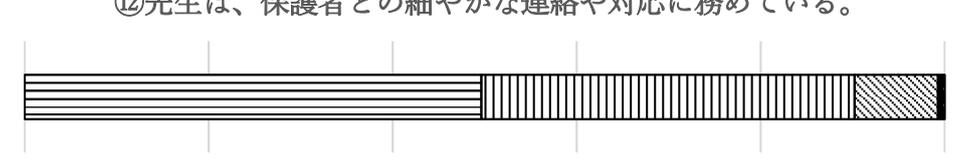
⑩園は、教育・保育活動の内容や情報を、わかりやすく伝えている。



⑪お子さまは、喜んで登園している。

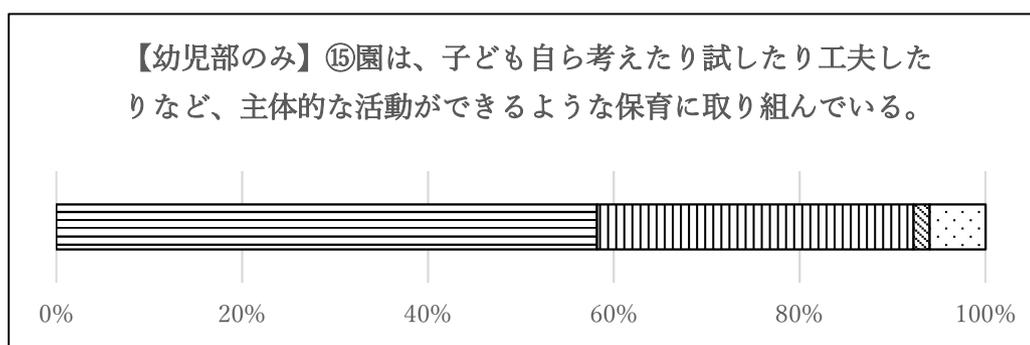
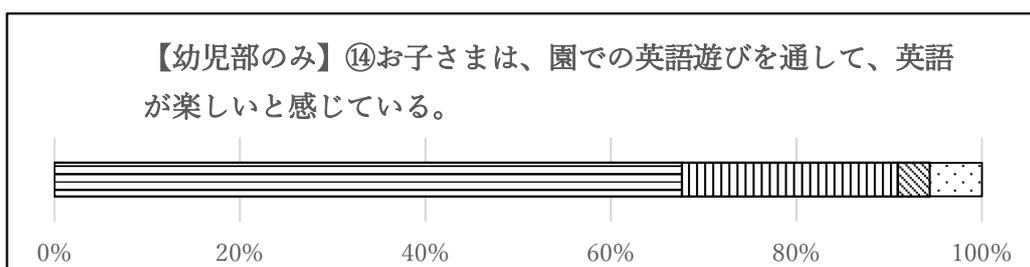


⑫先生は、保護者との細やかな連絡や対応に務めている。



【乳児部のみ】⑬園は、養護の行き届いた環境の中、一人一人に応答的に関り、子どもたちの健康面に配慮している。





○給食に関して、「見た目が茶色でおいしくなさそうに思う」というご意見がありました。まさに全体的に茶色ですよ。しかし、古来より日本人が摂ってきた穀物や野菜を使った煮物中心の食事（日本の伝統の食事）は、安心安全はもちろん、体を整える食事となっています。先人達から将来の日本を担うこども達に伝えるべき、食文化ではないかと考えています。味覚が発達するこの時期に、本園での食体験が、成長してからもこども達に正しい食べ物の選択ができるように育てて欲しいという思いで、栄養士の指導のもと、心をこめて給食を作っています。どうぞ、ご理解ください。最近、「苦手なものが食べられるようになった」「便通がよくなった」という園児も増え、残食も少なくなりうれしく思っています。

○設問14、15については、無回答が6%近くありました。これは、乳児部のみの回答、幼児部のみの回答としたため、見落としやすかったのではと考えられます。わかりにくく申し訳ありませんでした。英語遊びは、どの学年、クラス共、生き生きとした表情で取り組む姿が多く見られるようになりました。また、子ども自ら考えたり、試したり工夫したりなど「主体的な活動内容」についても、さらに、教育内容の工夫をし、次年度につなげていきたいと考えています。

○ 学校評価委員の皆様には、保育参観(12月8日)の後、後日学校評価委員会を開催し、ご感想、ご意見をいただきました。(要約)

【乳児】

- ・生活、遊びの自然の流れの中で、生活習慣が身に付くように楽しく指導しているのが、よくわかった。
- ・外遊びでは、三輪車が通る道をかいたり、遊具のところでは、必ず先生がいて、子どもの様子を見るなど、危なくないようにしてあった。

【年少】

- ・挨拶がよくできていた。
- ・制作活動の場面で、見通しがもてるような言葉がけ、働きがけをしていたので、子ども達が喜んで取組んでいる様子が見えた。

【年中】

- ・先生がさりげない褒め方をし、周りの子にも刺激となっていた。
- ・椅子の片付け等、進んでできていた。
- ・発表会の役決めで、先生が決めるのではなく、子ども達と話し合いながら進めていた。

【年長】

- ・話し合いの場面で、先生が一方的に進めるのではなく、子どもたちの一人一人の思いを大切に、良いこともそうでないことも共有して活動を進めていた。
- ・どのクラスも子供が積極的に発言できるような活動をしていて、考える力や想像する力などを伸ばしているような活動をしていると思った。